

# 農の広場

登米市農業委員会だより

第41号

令和6年2月

登米市の農業従事者の平均年齢は概ね70歳、農業者と農家数が激減する中で、未来の地域の農地を適切に管理し農業を維持する方策は如何に。

## 地域計画の策定に関する意見交換会が開催される！

### 「10年後の農地・農村を担う」

迫



登米



東和



中田



豊里



米山



石越



南方



津山



市は「地域計画」策定のための協議の場を設け、11月14日から12月6日の間、町域毎に開催しました。ワークショップでは、農地を含め地域農業の将来計画について、現状の課題や、目指すべき方向と改善策などの意見が出され、集約集積に向けた出し手受け手の共通認識の必要性、担い手確保に向けた後継者への意識付けや経営と労働環境の改善など多くの提案がありました。

「地域計画」は地域の農業の将来像と10年後を見据えた計画で、複数の協議を重ね、農業委員会でいう目標地図の素案作成などを含め令和7年3月末までの策定を目指しています。

地域の将来像であることからより多くの農家が認識できる取り組みを強化することで、より実効性の高いものが得られると思われました。

担当：佐藤久順委員

新年を迎え、皆様方には健やかにお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

昨年は、記録的な猛暑による高温障害などで、農作物の収量の減少や品質低下が各地で頻発した年でありました。地球温暖化が一因の自然環境の変化がもたらす災害と認識しております。政府ではこれらの対応として、品種の改良や開発、CO<sub>2</sub>の削減についても2050年を目標（実質0）に取り組んでおり、大いに期待するところであります。

また、近年「食料の安全保障」が声高に問われており、それに関わる「食料・農業・農村基本法」の見直しも進められ、生産基盤の回復と自給率の向上が大きな課題になると考えております。

農業委員会としては、農業・農村の多面的機能を守るための活動に全力で取り組んでおります。その一環として、登米市が進める、将来を見据えた「地域計画」の協議の場に参加しております。さらに、農地の効率的な利用を図ると共に、新規就農者や多様な担い手に対し、魅力ある農業・農村にするため「目標地図」の素案作成を進めたいと思っております。皆様のご協力が不可欠ですので、何卒よろしく申し上げます。

最後に「農業の改革元年」というべき2024年度において、人々が安心して暮らせる地域社会の維持発展に向け、市や県、国へしっかりと現場の声を届けてまいります事を申し上げ、新年の挨拶と致します。

## 新年のご挨拶

登米市農業委員会 会長 高橋 清 範



## 第8回 宮城県農業委員会大会

（一社）宮城県農業会議主催の農業委員会大会が11月15日名取市文化会館で開催されました。

県内から総勢800名の農業委員、農地利用最適化推進委員が参加しました。大会では第1号議案から第4号議案まで提案され、満場一致で採択されました。

その後、東北大学大学院農学研究科教授角田毅氏による「地域農業・農村を担う人材の育成確保と経営継承」と題した講演を拝聴し、農業情勢が一段と厳しさを増す中、私たち委員の役割を再認識しました。

大会では、宮城県農業会議会長表彰（在職15年以上）として、当委員会からは3名が表彰を受けられました。

また、事務局職員として在職10年に達した方の表彰もあり、主査の千葉貴行さんが表彰されました。

担当：門馬一郎委員



受賞された委員の皆さん



五十嵐幸喜委員



芳賀秀二委員



武田正男元委員

## 法務局からのお知らせ～相続登記の義務化について～

令和6年4月から、相続による不動産の取得を知ってから3年以内に登記申請をすることが法律で義務付けられます。

正当な理由なく申請しない場合には10万円以下の過料が科される可能性があります。今のうちから相続登記に備えましょう！

- ・制度に関する詳細は  で検索
- ・登記の専門家へのご相談は、宮城県司法書士会の「相続登記相談センター」にお問い合わせください

☎022-221-6870

（月・水・金／13：30～16：30）

- ・相続登記の手続に関するご案内（ハンドブック）→  
仙台法務局登米支局



不動産登記推進  
イメージキャラクター  
「トウキツネ」



（法務省ホームページ）

## 栗原市農業委員会の視察を受け入れました

目標地図作成の情報共有などを目的として、栗原市農業委員会（吉田優俊会長外38名）が来訪しました。登米市と栗原市は、隣接する圃場もあることから、協力しながら目標地図素案の作成を進めることなど活発な情報交換が行われました。



登米市農業委員会だより

## 令和6年度農作業標準料金・賃金表

農作業標準料金・賃金表は、農作業の受委託をする場合の目安としてご利用ください。

※実際の作業料金を決定する際は双方協議をお願いします。

作業種目等	種別	作業の単位	区画	令和6年度標準料金(税抜き)	令和6年度標準料金(10%税込)	備考	
耕起	水田耕起	トラクター	10a	30a未満	4,891円	5,380円	ロータリーを基準 耕深12cm以上
				30a~50a未満	4,273円	4,700円	
				50a以上	3,864円	4,250円	
	畑耕起	トラクター	10a	30a未満	5,291円	5,820円	二番耕 普通畑
代かき	トラクター	10a	30a未満	5,964円	6,560円	仕上げまで	
			30a~50a未満	5,618円	6,180円		
			50a以上	5,391円	5,930円		
田植え	催芽料金	1袋	4kg	246円	270円		
	苗	1箱		682円	750円	苗を委託者自己搬入以外は1箱30円増 箱処理剤は含まない	
	田植機	10a	30a未満	5,300円	5,830円	側条施肥は1,000円増(肥料代は含まない) 除草剤、箱処理剤の同時処理は各500円増 (薬剤代は含まない)	
30a~50a未満			4,773円	5,250円			
50a以上			4,373円	4,810円			
直播	湛水	10a		5,000円	5,500円	代かき済み圃場とし、種籾、コーティング処理含まず	
	乾田			4,809円	5,290円	整地済み圃場とし、種籾含まず	
稲刈り	コンバイン	10a	30a未満	15,873円	17,460円	隔刈~運搬まで ワラ切断 ワラ結束は2,000円増	
			30a~50a未満	15,100円	16,610円		
			50a以上	14,473円	15,920円		
籾乾燥調製	乾燥	生籾乾燥	60kg	964円	1,060円	水分28%未満。28%以上は双方協議	
		半乾燥	60kg	600円	660円	水分17%以下のもの	
	籾すり	60kg	573円	630円	袋代は別		
	色彩選別	60kg	800円	880円	単独作業籾すりと同時に作業の時は双方協議 30kgは半額		
散布	肥料散布	ブロードキャスター	10a	727円	800円	肥料代は別	
	農薬散布	背負動力散布機	10a	845円	930円	農薬代は別	
	肥料・薬剤散布	ドロオン	10a	1,091円	1,200円	薬剤・肥料代は別 未整理地、障害物のある農地及び、薬剤の種類と散布量については双方協議	
	堆肥散布	マニアスプレッター	10a	2,536円	2,790円	堆肥代金は含まない。積込運搬含む	
堆肥		1t	3,000円	3,300円	有機センター成分と同等品、運搬なし		
溝切		1m	5円	5円			
畦畔塗		1m	36円	40円	片側		
ワラ収集梱包	反転収集	ジャイロレーキ	10a	1,327円	1,460円	2回を標準とする	
		ロールベラー	10a	2,536円	2,790円	積み上げ・運搬は含まない 梱包、ラッピングについては、重量や巻数により双方協議	
	梱包	ハイベラー	10a	3,064円	3,370円		
		ラッピング	1個	直径1m	991円		1,090円
転作田草刈(牧草)	ディスクモア	10a	2,891円	3,180円	転作草地の草刈り(刈り放し)		
畦畔草刈	草刈機	1時間	1,436円	1,580円	機械持ち(燃料含む)		
	自走畦畔草刈機	1時間	2,891円	3,180円	機械持ち(燃料含む)		
区画拡大	心土破碎	サブソイラ	10a	50a未満	2,809円	3,090円	2本爪 深さ40cm程度 5mピッチ
				50a以上	1,873円	2,060円	
	天地返し	ブラウ	10a	50a未満	6,545円	7,200円	深さ15cm以上 天地返し
				50a以上	4,673円	5,140円	
	砕土	パーティカルハロー	10a	50a未満	4,673円	5,140円	ブラウ作業後の砕土・整地・鎮圧作業
50a以上				3,745円	4,120円		
均平	レーザーレベラー	10a	15,455円	17,000円	※土地の形状及び土質により作業効率が変わるため作業内容を事前に十分協議。		
賃金	オペレーター	1日			10,600円	トラクター・コンバイン等の運転のみを依頼する場合の賃金(8時間)	
	一般作業員	1日			8,480円	一般農作業、男女とも同額(8時間)	

①賃金は、実働8時間を基準とします。

②農作業標準料金の税込表示額が10円単位となるよう税抜き表示額の1円未満を端数調整しています。

③作業料金は1作業のみの単独料金になります。複数の作業の場合は双方協議の上、決めてください。

④上記以外、未整備田(開田等)、地形、地質、作業内容や諸条件により通常と異なる場合は双方協議の上、決めてください。

⑤区画の考え方は、ほ場の区画ではなく作業面積による区画です。(例:1ha区画内で20aのみ作業する場合は「30a未満」の区画料金を適用します。)

登米市農作業標準料金・賃金改定委員会

※料金表は、市ホームページにも掲載しています。必要な場合はダウンロードしてお使いください。

## 新規就農して6年！若い農家さんをご紹介します

中田町上沼の空きハウスを借りて、キュウリ農家として就農した齋藤さんご夫婦。経営面積はハウス15aからスタートして、現在はハウス30a、露地25aになりました。春から秋にかけて作付けしているキュウリを中心に、2年目からは冬場の収入確保のため露地に大根や人参を、キュウリの後作として冬場は葉物野菜を栽培しています。

保育園に預けているとはいえ、幼いお子さん(4歳)がいる3人家族。パートの方を雇用し労働力の安定化を図っているとのこと。

大地さんは、収量の増加と長期的かつ持続的な労働力を確保するため、通年雇用などの体系づくりが目標だとお話してくれました。今後を応援したくなるお二人でした。

担当：五十嵐幸喜委員



さいとう 齋藤

だいち 大地さん (34歳)

のそみ 望実さん (32歳)

## 農家の老後をしっかりとサポート 改めて学ぶ農業者年金

農業委員会委員を対象とした農業者年金加入推進研修会が11月27日、中田庁舎で開催されました。講師には宮城県農業会議村田雄紀氏、JA宮城中央会から荻田芳昭氏を招き「農業者年金と加入推進について」と題してお話をいただきました。

研修の中で、まだまだ農業者年金は認知不足であり、ポスターの貼り出しや、チラシの設置など制度を知ってもらおう活動が大事だということを知りました。

私も農業者年金に加入しており、老後をしっかりとサポートしてくれる安心があります。

農家のみなさん、是非加入をご検討ください。制度についてはお近くの農業委員、最適化推進委員まで。

担当：鹿野昭子委員



## 令和6年能登半島地震で被災された方々にお見舞い申し上げます

早いものでもう2月。申告の時期になりました。

昨年は、農業資材等の高騰により経費がかさみ、更には、猛暑の影響により米の品質の低下、園芸作物の収量の減少、肉用牛については、価格の低迷などがあげられ農業所得が減る一方で、生産コストを下げようにも限界があります。このような状況は、これから先もつづくようなことが言われています。

現在、農業者の高齢化、担い手不足が問題となつていますが、人を活かして農地を活かすためにも、地域計画「目標地図」を実現させ地域農業の活性化につなげていきたいと思います。

浅野 和宏

### 編集委員

委員長 五十嵐幸喜  
副委員長 浅野和宏  
委員 三塚芳毅

門馬一昭  
鹿野健之  
高野寺子  
高野鉄子  
佐藤久順  
三塚芳毅  
浅野和宏  
五十嵐幸喜

## 購読しませんか



全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークが発行する週刊の農業総合専門誌です。

週刊 金曜日発行  
(原則月4回)  
月700円、年8,400円  
(消費税込)

申し込み・お問い合わせ先  
登米市農業委員会事務局 ☎0220-34-2317  
FAX番号 0220-34-2801

## 編集後記